

北海道新聞 2011 年（平成 23 年）8 月 1 日（月曜日）

<道央ひとワイド>

◎災害弱者のため避難場所確保を

札幌市東区の「ホップ障害者地域生活支援センター」代表理事の竹田保さん（51）は、東日本大震災の被災地を 10 回以上訪れた。「みんな我慢を強いられている中で、障害者や高齢者は声を上げにくい。復興に乗り遅れる人が出てきている」と感じている。

車いす生活の竹田さんは、札幌の障害者や高齢者の避難場所確保の重要性も訴えている。「電気がないと生きていけなくなる人もいる。当事者の声を聞き、生活に即した機能の整備を進めてほしい」と求める。

